

子どもから高齢者まで
誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまちへ

令和3年度

予算

歳入 129億4000万円

地方交付税 (23.6%)

30億5700万円

一定の行政サービスの水準を維持するために国から交付されるお金

※構成比は端数処理の関係で、集計値と一致しない場合があります。

町税 (27.7%)

35億8664万7千円

町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税

国庫支出金 (15.5%)

20億493万9千円

国からの補助金など

県支出金 (8.6%)

11億926万8千円

県からの補助金など

町債 (8.0%)

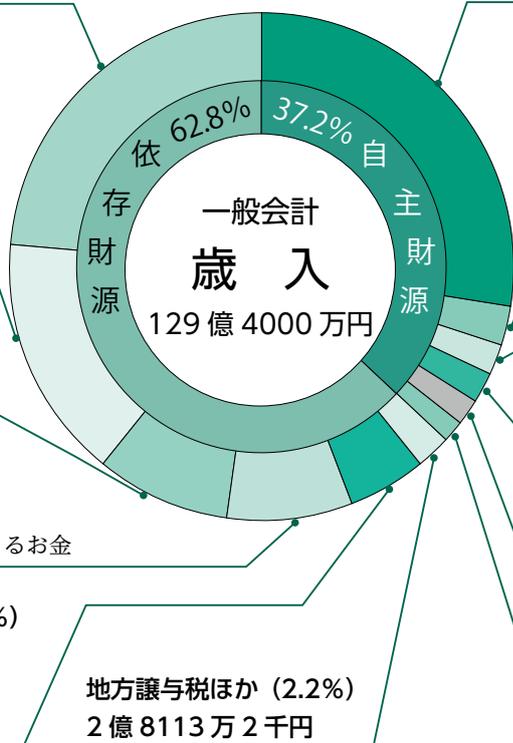
10億3910万円

建設事業などに対して借りるお金

地方消費税交付金 (4.9%)

6億2890万円

地方消費税のうち町に交付されるお金



繰入金 (2.5%)

3億2029万6千円

基金の取り崩し

繰越金 (1.9%)

2億5000万円

前年度からの繰越金

諸収入 (1.8%)

2億3767万6千円

使用料及び手数料 (1.8%)

2億2941万2千円

寄附金ほか (1.5%)

1億9563万円

地方譲与税ほか (2.2%)

2億8113万2千円

町の令和3年度予算が、3月に開かれた町議会第1回定例会で決まりました。

予算の編成に当たっては、必要性、緊急性を十分に精査し、町民生活に豊かさや潤いをもたらすさまざまな事業や施策を盛り込みました。

企画財政課 財政係
☎ 34・2072

一般会計

一般会計の予算額は、前年度に比べて3億4300万円減の129億4000万円となりました。

歳入では、自主財源の根幹をなす町税が、新型コロナウイルスの影響もあり、約1億5000万円の減収を見込んでいます。そのほか、地方消費税交付金や地方譲与税などについても減収を見込む一方で、行政サービスの水準を維持するために国から交付される地方交付税は、約1億9800万円の増収を見込んでいます。なお、大型事業の事業費の減に伴い、町債は約7億5800万円減少しました。

歳出では、駅前再開発に係る事業費が増加したものの、雨水調整施設の整備や道路整備に係る事業費などが減となったことから、土木費が約9億5700万円の減となりました。

特別会計

また、民生費では、障害福祉費や特別会計繰出金の増、保育所の新設補助などにより約3億2800万円の増、衛生費では、新型コロナウイルススワクチン接種に係る費用を計上したことなどから、約2億1900万円の増となりました。

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理するため、4つの特別会計を設けています。予算額は左表のとおりです。

企業会計

独立採算で運営を行う公営企業に水道事業と下水道事業があります。予算額は左表のとおりです。

水道事業では、経営安定化のため、令和4年度から磯城郡3町での一部事務組合による事業開始に向け、事業認可手続きなどを行い、会計システムなどを新たに構築・統合し、県域水道一本化も見据えて、引き続き広域化に向けた取り組みを推進します。

下水道事業では、引き続き経営の健全化を図るとともに、ストックマネジメント計画に基づき、計画的、効率的な施設の維持管理や整備に取り組めます。

性質別歳出

以下の金額は、右表の歳出について、経費の経済的な性質に着目して分類したものです。

扶助費 (18.4%)

23億 8648万 9千円
高齢者、障がい者、児童への援助など

補助費など (18.0%)

23億 3073万 2千円
一部事務組合への負担金や各種団体補助など

人件費 (17.7%)

22億 9227万 6千円
職員の給与、議員報酬など

物件費 (17.1%)

22億 1559万 4千円
委託料、光熱水費、事務用品など消費的な支出

公債費 (11.3%)

14億 6632万 5千円
町債の返済など

繰出金 (9.5%)

12億 2874万 3千円
他会計への支出

議会費 (1.1%)
1億 3595万 5千円
議会の運営

農林水産業費 (1.2%)
1億 4921万 3千円
農業振興、生産基盤整備など

消防費 (4.4%)
5億 6762万 9千円
消防、防災など

公債費 (11.3%)
14億 6632万 5千円
町債の返済など

衛生費 (11.5%)
14億 8356万 9千円
健康づくり、ごみ・し尿処理など

普通建設事業費 (5.4%)
7億 362万 5千円
道路や公園の建設など

歳出 129億 4000万円

商工費 (0.6%)
7317万 8千円
商工業、観光の振興など

予備費 (0.1%)
1000万円

民生費 (33.6%)
43億 4357万 1千円
高齢者、障がい者、児童の福祉の増進、人権啓発など

一般会計
歳出
129億 4000万円

※構成比は端数処理の関係で、集計値と一致しない場合があります。

土木費 (12.3%)
15億 9727万 2千円
道路・河川整備、都市計画、住宅など

総務費 (12.0%)
15億 4992万円
庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計など

教育費 (12.1%)
15億 6336万 8千円
学校教育、生涯教育、文化・スポーツ振興など

維持補修費など (0.6%)
8043万円

積立金 (1.8%)
2億 3578万 6千円
基金への積み立て

●歳出合計 129億 4000万円
※上記の表とは、歳出の分類方法が違うのみであるため、合計は変わりません。

会計別予算額

(▲はマイナスを表す)

会計	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率	
一般会計	129億 4000万円	132億 8300万円	▲ 3億 4300万円	▲ 2.6%	
特別会計	国民健康保険	34億 2420万 2千円	33億 3143万 6千円	9276万 6千円	2.8%
	後期高齢者医療	5億 4517万 3千円	5億 3932万 7千円	584万 6千円	1.1%
	介護保険	30億 8906万 6千円	30億 6193万 5千円	2713万 1千円	0.9%
	磯城郡介護認定審査会共同設置	1578万 7千円	1410万 6千円	168万 1千円	11.9%
水道事業会計	収益的支出	12億 5961万 5千円	8億 9688万 6千円	3億 6272万 9千円	40.4%
	資本的支出	2億 9525万 7千円	2億 8868万 2千円	657万 5千円	2.3%
下水道事業会計	収益的支出	10億 6477万 2千円	10億 6202万 9千円	274万 3千円	0.3%
	資本的支出	9億 528万 4千円	9億 1820万 8千円	▲ 1292万 4千円	▲ 1.4%
各会計予算総額	235億 3915万 6千円	233億 9560万 9千円	1億 4354万 7千円	0.6%	

令和3年度の**主な事業**

1

子育ての願いをかなえるまちづくり

●保育所の新設補助

…9971万7千円

待機児童の解消を図るため、認可保育所の設置・運営を行う民間事業者を公募し、施設整備に係る費用の一部を補助します。



●学童保育所の拡充

…9980万円

3月に開所した宮古保育園に併設の学童保育所への運営補助に加え、4月から田原本学童保育所を1クラス増やすなど、子育て世代の仕事と子育ての両立を支援します。



●学校施設再配置基本計画の策定…706万2千円

今後、より一層進展する少子化を見据え、学校施設の規模の適正化を図り、集団生活の中で子どもたちのより良い学習環境を維持するため、アンケートやワークショップを踏まえて昨年度に策定した素案を基に、外部有識者や住民説明会を実施し、学校施設再配置基本計画を策定します。

●小学校費合計…1億6600万7千円

●中学校費合計…9224万8千円

●幼稚園費合計…3億4345万3千円

●ひとり親家庭への支援…1500万円

ガバメントクラウドファンディング（寄附金）を財源として、町内でひとり親家庭への支援活動を行っている認定NPO法人おてらおやつクラブに活動経費を補助します。

2

健康で安心な暮らしを支えるまちづくり

●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

…1億7374万9千円

速やかにワクチンの接種が可能となるよう、接種の優先順位を踏まえた接種体制の構築を図ります。

●地域支援事業（高齢者施策）…1億8876万9千円

高齢者が要介護・要支援になることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも可能な限り地域で自立した日常生活を送れるよう支援します。

●ヘルスケア

プロジェクト事業

…5943万1千円

令和3年度は事業参加者の拡大を図ります。健康無関心層にも積極的に働きかけ、健康増進プログラムを健康ポイントプログラム、運動教室プログラムなどの事業の実施により、全世代活躍のまちの実現に取り組みます。



3

潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり

●青少年健全育成推進事業…1816万2千円

青垣生涯学習センターや中央体育館での放課後子ども教室などを継続するほか、新たに学習支援教室を開催し、子どもの基礎学力の向上、学習習慣の確立を図ります。

●生涯学習事業

…1509万円

公民館学習や高齢者クラブ、文化祭の開催、弥生の里ホール自主公演などを行います。



●社会体育振興事業

…2207万円

各種大会、教室を開催するほか、スポーツ推進計画の策定、東京2020オリンピック・パラリンピックで本町がホストタウンとなるグアテマラ共和国との事後交流事業を行います。



4

安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

●田原本駅南地区

市街地再開発補助事業

…3億7893万7千円

組合施工により実施する田原本駅南地区市街地再開発事業について補助金を交付するほか、公共施設部分の用地の取得を行います。



●道路新設改良事業…1億6396万2千円

国道24号や主要県道などの広域道路ネットワークに連携した機能的な道路網の構築を図ります。

●一般下水路事業…1億2708万6千円

町内の浸水被害地域の解消改善に向け、引き続き、雨水調整施設の整備などを行います。

●食品資源循環事業…2675万円

循環型社会の構築に向け、学校給食や家庭（モデル地区）から出される資源化可能な調理くずなどを肥料化し、活用します。

●コミュニティFMラジオ事業…1000万円

公設民営方式でコミュニティFMを立ち上げ、災害発生時の情報発信手段として活用するなど、災害に強いまちづくりを進めます。令和3年度は調査設計業務を行います。

●結婚新生活支援助成…90万円

住宅取得や家賃など、新婚世帯のスタートアップ支援を行い、定住人口の増へつなげます。

5

賑わいと活力あふれるまちづくり

●農業基盤対策事業

…4205万7千円

農道、水路などの農業基盤施設の強化を行います。また、土地改良事業に係る補助金を自治会に交付します。



●農業の振興…4630万8千円

新規就農者への支援や、生産性の向上と効率化を目的とした農業機械や設備整備への支援、高収益作物の生産支援をはじめ、農業の振興を推進します。

●観光の振興…3809万7千円

他市町村との連携や田原本まちづくり観光振興機構（旧田原本町観光協会）への補助を通じて、効果的な情報発信やイベントを実施するなど、より一層、観光振興に取り組みます。



6

住民とともに実現するまちづくり

●行政デジタル化の推進

本町のデジタル化をより一層推進すべく、令和3年度を「田原本町の行政デジタル化元年」と位置づけ、田原本町公式LINE連携事業（627万円）、統合型校務支援システム導入事業（1252万2千円）、学習者用デジタル教科書普及促進事業（201万円）などに取り組みます。

●ふるさと応援寄附金の推進…5081万円

本町への寄附の傾向を分析したうえで返礼品の拡充を進め、自主財源の確保及び本町のPRや地域事業者の販路拡大など、地域産業の活性化を図ります。

